

令和5年度 暮らしをつなげる看護職員のための研修プログラム
(看護職員管理者の相互研修) A 研修

《 研修目標 》

- ① 地域包括ケアシステムの学習と看護職の役割を理解する
- ② 「その人の暮らし」を意識したアセスメントと連携の在り方を明確にする
- ③ 自施設の役割を理解し、自身の立場で地域連携に向けた具体的な取り組みを考えることができる

《 プログラム 》 受付:9:00～ 会場オリエンテーション 9:20～

研修日	内容	講師	会場	
1日目 7/29(土)	9:30～10:00 報告:静岡県委託研修について 「第9次静岡県長寿福祉計画の進捗状況」	静岡県健康福祉部 地域包括ケア推進室 室長 内野健夫氏	静岡県看護協会 第1研修室	
	10:00～12:00 途中休憩 10分	東京医科歯科大学 在宅緩和ケア 看護学分野 教授 福井小紀子氏		
	13:00～14:30	講義:「住み慣れた地域で安心して 暮らしていくための取り組み」		伊豆保健医療センター 総合診療科長 清水啓介氏
	14:40～16:50	《シンポジウム》 伊豆保健医療センター 総合診療科長 清水啓介氏 静岡市立静岡病院 総合相談センター 看護師長 坂上朋子氏 福祉複合施設 ラポールあい 代表取締役 所長 野中美保子氏 藤枝市地域包括支援センター第2開寿園 センター長 社会福祉士 村越真輔氏		座長 福井小紀子氏
2日目 7/31(月)	9:30～10:30	1日目研修を振り返る 講義:診療報酬・在宅管理料について	訪問看護ステーション いわた 所長 長瀬由美氏	静岡県看護協会 第1研修室
	10:40～12:00	講義「入院から在宅療養へ円滑に移行するために」 静岡県在宅療養支援ガイドラインをもとに	磐田市立総合病院 看護部長 工藤ゆかり氏	
	13:00～14:30	講義:「暮らしをつなぐための看護倫理」 ～看護職の倫理綱領(日本看護協会)から 読み解く～	静岡県立大学小児看護学 教授 山下早苗氏	
	14:40～16:30	講義:「暮らしをつなぐための看護倫理」 ～臨床倫理の視点で在宅支援を考える～	聖隷浜松病院看護部管理室 老人看護専門看護師 宗像倫子氏	
	16:40～17:00	今後の研修(実習含む)に関するオリエンテーション	事業部	
3日目 9/1(金)～ 10/31(火) 1日間	実習施設に 沿った時間帯	<u>病院所属の受講者</u> :訪問看護 ST 又は地域包括支援センター <u>病院以外に所属の受講者</u> :病院の在宅支援部門	実習施設の指導者	各実習施設
4日目 11/16(木) 11/30(木) いずれか1日	9:30～16:30 演習:「入院から在宅療養へ円滑に移行する ためには」 (事例からの学び) ・暮らしをつなげるための視点への気づき ・地域連携の取り組みのための新たな発見	ファシリテーター 大村早苗氏 小池文子氏	静岡県看護協会 第1研修室	